



プレスリリース

平成 30 年 2 月 9 日 14:00

大阪府政記者会
大阪科学・大学記者クラブ 会員各位

大阪のサクラとモモを外来生物からみんなで守ろう！
「クビアカツヤカミキリ被害対策の手引書（暫定版）」を作成しました。

サクラやモモ、ウメなど主にバラ科の樹木（注1）に発生し、枯死させることもある「クビアカツヤカミキリ」は平成 24 年に日本への侵入が確認された新たな外来害虫で、大阪府域でも平成 27 年に初めて被害が確認されています。本種は、本年 1 月 15 日に環境省より特定外来生物に指定されましたが、繁殖力が旺盛なため、今後被害の拡大が懸念されています。

当研究所では、このクビアカツヤカミキリによる新たな被害を食い止めるため、国や大阪府、大阪府立大学、研究機関等と連携し、本種の発生状況の調査や防除方法の検討に取り組んでいるところです。

このたび、これまでの調査や検討を踏まえ、本種による被害を防ぐための手引書を作成しました。手引書では、本種の生態や特徴、大阪府への侵入、被害状況、サクラやモモの被害の様子や発見のポイント、被害防止の方法について解説しています。

今後も、新たな情報や確立した技術を収集し、随時、本手引書を改定していきます。

府内のサクラ並木や果樹園を守るため、サクラやモモ等のバラ科の樹木をお持ちの方々には、ぜひこの手引書を活用し、対策にご協力いただきたいと思います。

詳細については、添付の資料（クビアカツヤカミキリ被害対策の手引書（注2））をご参照ください。

<参考>

（注1）

主なバラ科の樹木：サクラ、モモ、スモモ、ナシ、ウメ、カキ、ザクロ等

（注2）

クビアカツヤカミキリ被害対策の手引書（暫定版）

http://www.kannosuiken-osaka.or.jp/portal_info/doc/2018020500033/

大阪府病虫害防除情報

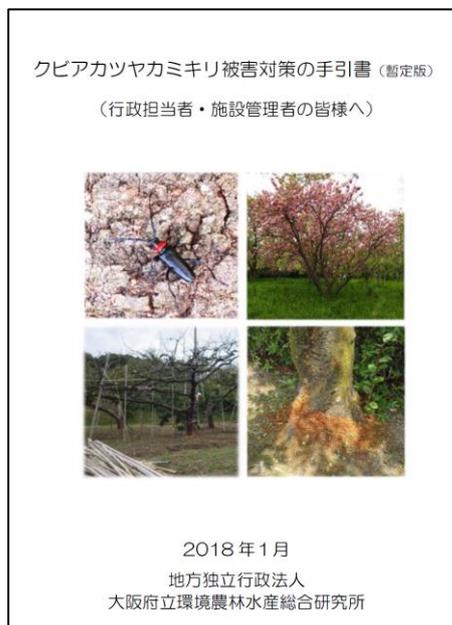
<http://www.jpjn.ne.jp/osaka/H29nd/boujyoyouhou/170623kubiakatuyakamikiri.pdf>



(写真1) クビアカツヤカミキリ



(写真2) クビアカツヤカミキリの被害を受けた樹



(写真3) クビアカツヤカミキリ被害対策の手引書 (暫定版)